

平成 30 年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技会場設営等業務
企 画 提 案 書 作 成 要 領

1 目的

平成 30 年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技会を開催するにあたり、会場設営等業務の委託業者を公募型プロポーザル方式により選定するため、企画提案書の作成に必要な事項を定める。

2 委託業務名称

平成 30 年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技会場設営等業務

3 委託期間

契約締結日から平成 30 年 8 月 31 日（金）まで

4 所要額の上限

この業務における所要額は、17,600 千円（消費税及び地方消費税を含む。）を上限とする。

5 委託業務内容

競技会場等の設営、撤去、管理運営業務

- ① 配置計画の作成
- ② 設計計画の作成
- ③ 観客席（仮設スタンド等）の設置
- ④ 関係機関との協議及び許可申請
- ⑤ 物品（消耗品含む。）等の準備、設営、維持管理
- ⑥ 仮設トイレの設置及びし尿処理

6 大会概要

（1）大会日程

- ① 女子種目別開会式：平成 30 年 7 月 30 日（月）
- ② 女子競技日程：平成 30 年 7 月 31 日（火）～8 月 2 日（木）
- ③ 男子種目別開会式：平成 30 年 8 月 3 日（金）
- ④ 男子競技日程：平成 30 年 8 月 4 日（土）～6 日（月）
- ⑤ 表彰式：男女とも個人・団体共に競技終了後

（2）競技日程

| 期 日 | 開始時刻 | 内 容 |
|-------------|----------|-----------------|
| 7 月 30 日（月） | 9 時 00 分 | 女子公開練習 |
| 7 月 31 日（火） | 9 時 00 分 | 女子個人戦（3 回戦まで） |
| 8 月 1 日（水） | 9 時 00 分 | 女子個人戦（競技終了後表彰式） |
| 8 月 2 日（木） | 8 時 30 分 | 女子団体戦（競技終了後表彰式） |
| 8 月 3 日（金） | 9 時 00 分 | 男子公開練習 |
| 8 月 4 日（土） | 9 時 00 分 | 男子個人戦（3 回戦まで） |
| 8 月 5 日（日） | 9 時 30 分 | 男子個人戦（競技終了後表彰式） |
| 8 月 6 日（月） | 8 時 30 分 | 男子団体戦（競技終了後表彰式） |

※その他、契約期間中の 7 月 14・15・16 日にはリハーサル大会、7 月 21・22・23 日には国体予選会が開催されるため、設営スケジュールに反映させること。

7 提案事項

(1) 提案の考え方

今回求める提案は、業務の実績や課題に対する考え方などの提案を評価し、委託する業者を選定するものであり、計画案や設計案を評価するものであるが、課題に対する考え方を補足、説明する資料として提出された計画案や設計案は、必ずしも採用するものではない。

(2) 課題の背景

平成 30 年度全国高等学校総合体育大会を開催するにあたっては、「簡素で効率的な大会運営」とし、選手・競技を主体とした大会準備をしているところである。

ソフトテニス競技にあっても、効率的な大会をめざすため、一会場で開催可能な 17 面のテニスコートのある会場、かつ競技の公平性を担保できる同一のサーフェスを有する施設を兼ね備えた「三重交通 G スポーツの杜 鈴鹿 庭球場」を会場としている。

しかしながら、当該庭球場は、ソフトテニスの全国規模の大会を運営するための施設や多くの観客席を兼ね備えた施設ではなく、いわゆる競技をすることのみを主眼とした施設であることから、当該庭球場の既存施設のみでは大会運営が困難であり、会場利用にあっては、仮設物の設置はもとより、限られたスペースの中で、最適かつ経済的な配置のための専門的な工夫が必要となってくる。また、屋外競技であることから天候の影響を受けやすく、会場設営、撤去、管理運営等にあっては、迅速・柔軟・安全・確実な対応が求められるとともに、真夏日での大会期間であることから、事故防止のためにも、熱中症対策を万全に期していくことも求められる。

そのため、大会開催に向け問題となる下記の課題に対する考え方などの提案を評価し、業者選定することにより、大会の円滑かつ効率的な遂行を図るものとする。

(3) 課題

以下の課題について、「大会日程」、「競技日程」、「ソフトテニス競技会場図案」、「観客席配置図案」等を参照し、安全性、経済性を十分考慮の上、提案すること。

課題 1 競技会場の設営と管理運営等について

競技会場では観覧席などの会場設営、撤去を短期間で施工する必要がある。併せて、屋外競技特有の荒天時の対応を検討する必要がある。

(前提条件)

- ① 別発注のユニットハウス内に、総務、競技進行、記録、式典及び審判の本部を配置。
- ② テントは、受付、補助員待機所、休憩所等として利用。
- ③ 仮設トイレの設置が必要。
- ④ 会場設営及び撤去期間中も通常営業を行っており、一般利用者の来場が予想されるため、十分な安全対策が必要。
- ⑤ 会場設営、管理運営等にあっては、関係法令を遵守した手続が必要。
- ⑥ 台風や落雷など荒天時対応が必要。

課題 2 会場誘導と安全対策等について

競技会場は多数の出場者、観客等が来場することが予測され、安全確保が大きな課題となっている。

(前提条件)

- ① 競技 8 日間の観客者数は延べ 4 万人程度（過去大会実績）
- ② 1 日当たりの大会運営役員及び同補助員は、最大約 700 人

- ③ 1日当たりの選手・監督・補欠を含め最大約 1500 人
- ④ センターコートは 1,648 人分の観客席があるが、主となる屋外コート 16 面には観客席はない。また、コートの後方から双方が応援を繰り広げるソフトテニス競技の特性に対し、当該庭球場では立見による応援しかできない。よってコート後方に仮設応援席が必要。

8 提出書類等について

- ① 様式に定めのあるものは、その指定様式を使用すること。
- ② 提案内容を補足説明するための工程表、配置計画などは、各課題に対し A 4 用紙縦若しくは A 3 用紙横で概ね 1 枚程度の最小限度にとどめること。
- ③ 記名、押印等の漏れがないか確認すること。

9 審査基準について

審査項目及び配点は別紙審査基準のとおり。

10 提案にあたっての留意事項

次の点に留意し提案すること。

- ① 本業務は多岐にわたる業務を調整し、大会運営の円滑かつ効率的な遂行を図ることを目的として委託するものであり、当該趣旨を十分に活かした提案であること。また、提案者はこの提案書作成要領に明記なき事項にあっても、業務に必要な事項を提案すること。
- ② 大会会場の既存施設は、原則として現状変更を行わないこと。やむを得ず現状変更を行わざるを得ないとき又は発注者側指示によるときは、発注者及び施設管理者と協議の上、現状変更を実施し、大会終了後、速やかに現状に復旧すること。
また、それに係る経費等を考慮した提案であること。
- ③ 本業務遂行にあたり、関係法令の適用を受ける場合は、それに適合するよう業務を遂行すること。また関係法令の必要な書類を作成し、関係機関との調整や許認可関係についても考慮した提案であること。
- ④ 会場設営等業務の実施にあたり、労力や資材の確保及び調達における鈴鹿市事業者の活用を提案すること。
- ⑤ 委託経費提案見積書作成にあたり、経済的かつ合理的な積算根拠を示して提案すること。